日産純正部品



日産オリジナル ナビゲーションシステム

HC510D-W
HC510D-A

取扱説明書

日産純正部品
ナビゲーション
PART No.
B8260-7991M
B8260-7991L

QRZ9051

ご使用前は必ずお読みください。

1005Ⓧ

このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

安全運転のため、ご使用になる前にこの取扱説明書、本書に記載の「安全上のご注意」、および取付要領書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
なお、この取扱説明書および取付要領書をお読みになったあとは、保証書と共に、いつでも見られる所にかならず保管してください。
保証書はお求めの販売会社（ディーラー）で記入いたしますので、内容をよくご確認ください。

- バードビュー®は、クラリオン株式会社の登録商標です。
- 特に説明のない場合、画面は昼間（ライト消灯時）で、表示色を切り替えていない状態のものを記載しています。印刷インクの関係で実際とは異なります。
- 本書の内容の一部は、予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

安全にお使いいただくために

■ 表示の説明

	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を表示しています。

■ 記号の説明

	この記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを表示しています。
	この記号は、禁止の行為であることを表示しています。
	この記号は、行為を強制したり指示する内容を表示しています。
	この記号は、分解禁止であることを表示しています。

安全上のご注意

ナビゲーションシステムをご使用になる前に、以下の注意事項を必ずお読みください。
これらは安全のために重要ですので、よくお読みのうえ、正しくお使いください。

取り付け時の注意

⚠警 告



取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス端子を外してください。プラスとマイナス経路のショートによる感電やけがの原因となります。



本機を前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、セレクトレバー（シフトレバー）、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けしないでください。交通事故やけがの原因となります。



エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機の取り付けと配線をしないでください。エアバッグ動作を妨げる場所に取り付け・配線をすると、エアバッグシステムが正常に動作しない可能性があり、死亡事故の原因となります。



コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめ固定してください。ステアリングやセレクトレバー（シフトレバー）、ブレーキペダルなどに巻き付くと交通事故の原因となり危険です。



取り付けと配線が終わったら、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなどの電装品が、元どおり正常に動作することを確かめてください。正常に動作しない状態で使用すると火災や感電、事故の原因となります。

⚠注 意

- 本機やオプション品の取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。安全のため必ずお買い上げの販売会社に依頼してください。誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。
- 必ず付属の部品を指定どおり使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れることがあり危険です。
- 取付説明書で指定されたとおりに接続してください。正規の接続を行わないと、火災や故障の原因となることがあります。
- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤動作する原因となることがあります。
- 車体やネジ部分、シートレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。
- コードが金属部に触れないように配線してください。金属部に接触しコードが破損して火災、感電の原因となることがあります。
- コード類の配線は、高温部を避けて行ってください。コード類が車体の高温部に接触すると被覆が溶けてショートし、火災や感電の原因となることがあります。
- コード類は決して途中で切断しないでください。コード類には、ヒューズなどが付いている場合があるので、保護回路が働かなくなり、火災の原因となることがあります。
- 電源用のリード線は、バッテリーに直接接続しないでください。車の振動や熱でコードの被膜が破れ、ショートして火災や感電の原因となることがあります。機器を動作させるための電流容量が不足して、バッテリーから直接に電源を取る必要がある場合はバッテリー専用の配線キットを使用してください。
- コードの先端など、被覆がない部分は絶縁性テープ等で絶縁してください。ショートにより火災や感電、故障の原因となります。
- 雨、水の車内への浸入を防ぐため、アンテナコード等の車内への引き込みには十分気をつけて行ってください。車内に浸水すると、火災、感電の原因になることがあります。
- 取り付け完了後に確認・点検等で本機を取り外す際には内蔵HDD保護のため、キースイッチOFF後、3分以上放置してからバッテリーのマイナス(㊀)端子の取り外しや本機の取り外しを行ってください。また、キースイッチOFF後にCD等の取り出し(モニター開閉)を行った際にも、モニターを閉じてから3分以上放置してください。

日常での使用時の注意

⚠警 告

- 本機を車載用として以外は使用しないでください。発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。
- 本機を分解したり、改造しないでください。事故、火災、感電の原因となります。
- 本機を分解したり、改造しないでください。事故、火災、感電の原因となります。
- 機器内部に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。
- ナビゲーションによるルート案内時も、実際の交通規制に従って走行してください。ナビゲーションによるルート案内のみに従って走行すると実際の交通規制に反する場合があり、交通事故の原因となります。
- 運転者は走行中に＜地点登録・メモリー設定、データ放送のメニュー画面など＞の操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 運転者は、運転中に画像を注視しないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。
- ディスク挿入口に異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。
- 電源ON時は、ボリュームの位置に注意してください。ボリュームの位置によっては突然大きな音が出て、聴力障害の原因となることがあります。

⚠注 意

- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用してください。車外の音が聞こえない状態で使用すると、交通事故の原因となることがあります。
- ディスク挿入口に手や指を入れないでください。けがの原因となることがあります。
- モニターなどの収納や角度調整時に、手や指を挟まれないように注意してください。けがの原因となることがあります。
- アンプの放熱部に手を触れないでください。放熱部の熱でやけどをする場合があります。
- エンジンを止めた状態で本機を長時間動作させると、バッテリーあがりを起こすおそれがあります。長くご使用になる場合は、必ずエンジンをかけた状態でご使用ください。

⚠注 意

画面に強い衝撃や無理な荷重を与えないようにしてください。タッチパネル・液晶パネルのガラスが破損し、けがの原因となります。また、割れたガラスには絶対に触れないでください

液晶パネルが割れた場合、パネル内部の液体には絶対に触れないでください。万が一、液体が体についたり、口にしたり、衣服についた場合は直ちに以下の処置を行ってください。

- 目や口に入った場合
  …すぐに大量の流水で最低15分間洗浄し、医師の手当てを受けてください。
- 皮膚や衣服についた場合
  …すぐにふき取り、石鹸を使用して大量の流水で最低15分間洗浄してください。皮膚の炎症や衣服を傷めることがあります。
- 飲み込んだ場合
  …水でよく口の中を洗浄し、大量の水を与えて吐き出させた後、医師の手当てを受けてください。

トラブル時の注意

⚠警 告

画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故、火災、感電の原因となります。

音声が割れる、歪むなどの異常状態で使用しないでください。火災の原因となることがあります。

万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変なにおいがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売会社に相談してください。そのまま使用すると思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

雷が鳴りだしたら、アンテナ線やテレビに触れないでください。落雷により感電の危険性があります。

その他の注意

⚠警 告

本機はDC12Vアース車専用です。トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの、24V車では使用しないでください。火災や故障の原因となります。

電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にしないでください。電源コードの電流容量がオーバーし、火災や感電、故障の原因となります。

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。

⚠注 意

本機の取り付け場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売会社へ依頼してください。取り外し、取り付けには専門技術が必要です。

説明書に記載されている注意事項を守らないことによって生じる不具合に対しては、当社は責任を負いかねますのでご注意ください。正しく取り扱わなかった場合や濫用などは保証の対象外となりますので、正しくご使用ください。

表示された道路の状況や交通規制が現場と異なる場合は、現場の状況を優先してください。

携帯電話を使用する場合は、ナビ本体から30cm以上離してお使いください。携帯電話の機種によっては、近づけると雑音が出ることがあります。

インテリジェントキーシステムが装着されている車では、インテリジェントキーをナビゲーション本体に近づけると動作しなくなる場合がありますので、十分に注意してください。

リモコン＜オプション＞についての注意

⚠警 告


リモコンを放置しないでください。停車したときやカーブを曲がるときに、リモコンが足元に転がり、ブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げとなり交通事故の原因となります。

⚠注 意


乾電池は充電しないでください。電池の破裂により、けがの原因となることがあります。


指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚染する原因となることがあります。


電池を機器内に挿入する場合は、極性プラス・マイナスに注意し、表示どおりに入れてください。電池の極性をまちがえると破裂、液もれにより、けがや周囲を汚染する原因となることがあります。


使い切った電池はすぐに交換してください。液もれにより、周囲を汚染する原因となることがあります。


窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災や故障の原因となることがあります。


乾電池を廃棄する場合は、プラス・マイナス 端子に絶縁性テープを貼るなどして絶縁状態にしてから「所在自治体の指示」に従って廃棄してください。他の金属片等導電性のあるものと一緒に廃棄したりするとショートして、発煙や発火、破裂の原因となることがあります。


アルカリ乾電池のアルカリ性溶液が皮膚や衣服に付着したときは、きれいな水で洗い流し、また眼に入ったときはきれいな水で洗ったあとただちに医師にご相談ください。


電池をショートさせたり、分解や加熱をしたり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより火災やけがの原因となることがあります。

VICSについての注意

⚠注 意



VICSから提供される情報はあくまでも参考情報であり、情報収集、伝達、処理などにより提供される情報が、実際の状況と異なったり、最新でない場合があります。
渋滞や規制などの表示がない道路情報に関しては、渋滞や規制がないため表示されない場合と、状況が不明で表示されない場合とがあります。このため、渋滞や規制などの表示がない道路に必ずしも渋滞や規制がないとはかぎりません。必ず実際の交通規制に従って走行してください。

TVについての注意

⚠警 告



運転者がテレビを見るときは必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキをかけて使用してください。テレビは安全のため走行中は表示されません。



フィルムアンテナは、取付説明書に指示された場所に貼り付けてください。視界不良となり事故の原因となることがあります。



取付説明書の指示どおりの取り付けをしないと、保安基準の適合として認められないことがあります。また、再貼り付けや汎用の両面テープ等で取り付けないでください。フィルムアンテナがはがれて思わぬ事故の原因となることがあります。

ディスプレイモニター・タッチパネルについての注意

⚠注 意

画面表面を清掃する場合は、電源を切り、『乾いたやわらかい布』か『中性洗剤に浸しよく絞った布』で軽くふき取るように行ってください。強くこすったり、先端のとがったもの、硬いものを当てたりしないでください。正しく動作しなくなる場合があります。

キャビネット面・操作スイッチ・画面表面などの汚れを落とす場合には、有機溶剤（ベンジン、シンナーなど）・酸・アルカリ類・濡れた雑巾は使用しないでください。表面が変質・変色したり、傷がつき著しく見にくくなったり、内部に水分が浸入し正しく動作しなくなる場合があります。

偏光サングラスを使用すると、表示画面が変色して見えたり、暗く見えたりすることがありますので、ご注意ください。

画面表面にフィルム・セロテープ等を貼り付けて使用しないでください。誤動作の原因となったり、画面表面が変質する場合があります。

本タッチパネルは指入力操作専用です。操作は指で行ってください。また、先端が鋭利で硬いもの（ボールペン、シャープペンシルの先など）で操作しないでください。表面に傷がついたり、正しく動作しなくなる場合があります。

画面表面や操作スイッチ部以外の部分は不用意に触れないでください。特に以下の場合は注意してください。

- 車内が高温になっている時
  …金属部が熱くなっているためやけどをすることがあります。
- 走行時または動作中
  …開閉動作などにより、はさまれる場合があります。

目 次

ナビゲーションを使う（応用編）　D

詳細機能の設定　E

情報を見る　F

オーディオ・ビジュアル　G

ハンズフリーフォン H

カーウイングス I

音声操作 J

オプション品を利用する K

付 録 L

本書について

本書について

■ 本書は、HC510D-W HC510D-A の共通取扱説明書です。ナビゲーションやオーディオ関連の操作およびオプション機器のカメラシステムなどについて説明しています。
メニューや操作手順などが異なる場合には、それぞれの機種名 HC510D-W HC510D-A を明記しています。

本書のマークの見かた

本書では、用途別にさまざまなマークを使用しています。
以下に、各マークの意味を説明していますので、本書をお読みになる前によく理解しておいてください。

●参考にしていただきたいマーク

 アドバイス	お車のために守っていただきたいこと。 守らないと車両破損につながるおそれや正規性能を確保できないことがあります。
	お車を使う上で知っておいていただきたいこと。 知っておくと、お車やいろいろな装備を上手に使うことができ便利です。
	参照していただきたい本文のタイトル名やページ数を表示しています。
＜オプション＞	販売会社で装着する注文装備品または別売り品です。
現在地 スイッチ	操作パネルのスイッチを表します。
登録地から	画面上に表示されるメニューや項目を表します。

HC510D-W と HC510D-A の操作の違いについて

HC510D-W と HC510D-A では目的地やルートなど、最初のメニュー画面を表示させる操作が異なります。ご使用のナビの機種名を確認し、以下に説明する内容をよくご理解の上、本取扱説明書をお読みください。

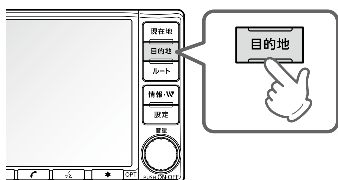
■ HC510D-W の場合

操作パネル右側のスイッチを押して目的のメニューを表示させせます。

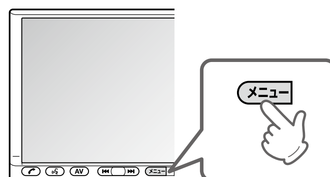
■ HC510D-A の場合

操作パネル下部の メニュー スイッチを押してナビメニューを表示させ、目的のメニューを選びます。

例）目的地メニューを表示させる











以降の操作は、共通となります。

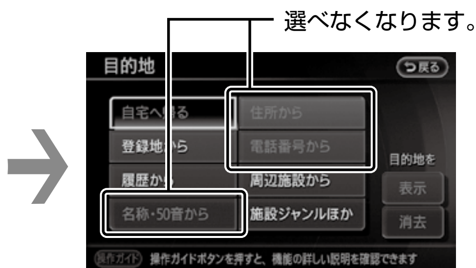
安全運転のための機能

安全運転のため、走行中は操作できない機能があります。操作する場合は、安全な場所に車を停車させてから行ってください。

メニュー画面の表示中（例）



停車中



走行中

文字入力画面の表示中（例）



停車中

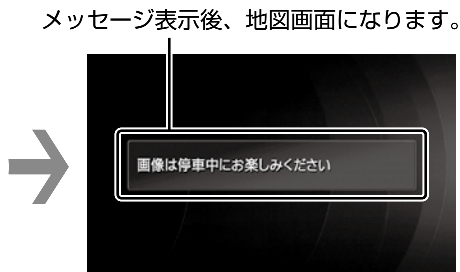


走行中

テレビ画面の表示中（例）



停車中



走行中

準備

操作パネルの基本操作

HC510D-W



●操作パネルを開閉する

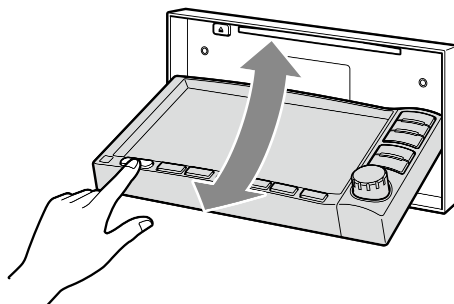
OPEN/TILT スイッチを押す。

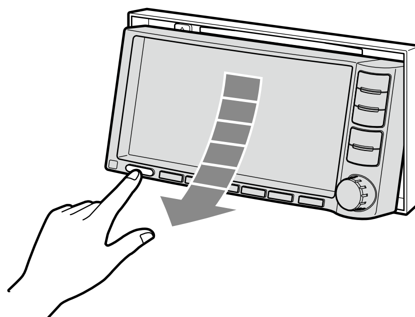
操作パネルの開閉を行います。

●操作パネルの角度を調整する

OPEN/TILT スイッチを約2秒間押し続ける。

指をはなすごとに、1段ずつパネルの角度が変わります。



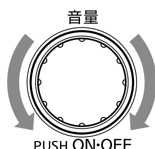


知識

操作パネルの角度調整について

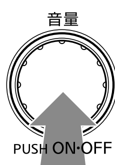
OPEN/TILT スイッチは、押し続けるとTILT機能が働き、画面を見やすい角度（6段階）に調整できます。角度を変えると、その角度がメモリーされ、パネルの開閉操作をしても、メモリーされた角度に戻ります。
角度は、全閉位置→TILT1→TILT2→TILT3→TILT4→TILT5→TILT6→全閉位置の順に変わります。

●**音量を調整する**



音量 スイッチを回して調整する。

●**電源をON/OFFする**



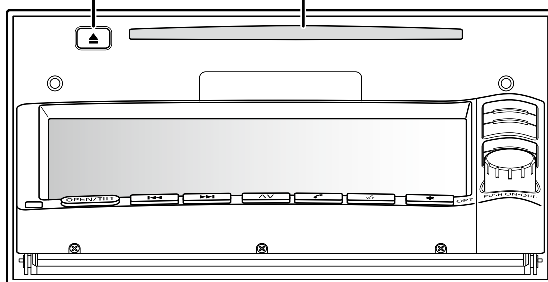
PUSH ON・OFF スイッチを押す。

オーディオをON/OFFします。（※ナビゲーションの電源はOFFしません）

操作パネルを開けたとき

DVD/CD
イジェクトスイッチ

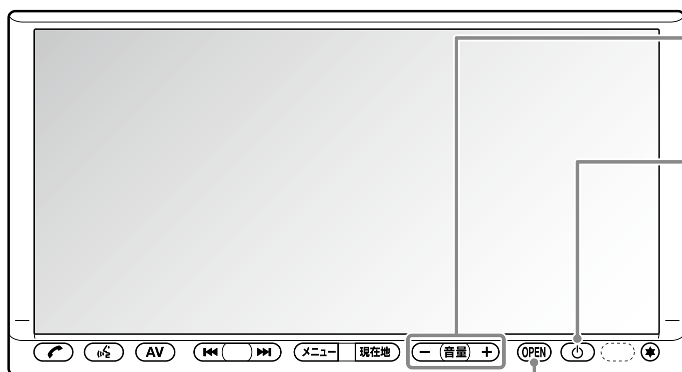
DVD/CD 挿入口
DVD、CD ディスクを挿入します。



ご注意

- 操作パネル開閉時、または角度を切り替えるときは手や指を挟まれないようご注意ください。
  また、開閉時は無理な操作や異常な使いかたをしないでください。
  故障などの原因となります。
- ナビゲーション起動直後にDVD/CDイジェクトスイッチを押しても、イジェクトできない場合がありますが、故障ではありません。時間をおいて再度押すとイジェクトできます。

HC510D-A



●操作パネルを開閉する

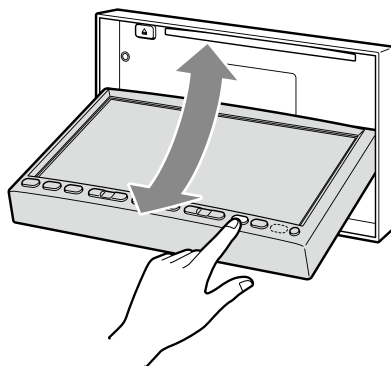
OPEN スイッチを押す。

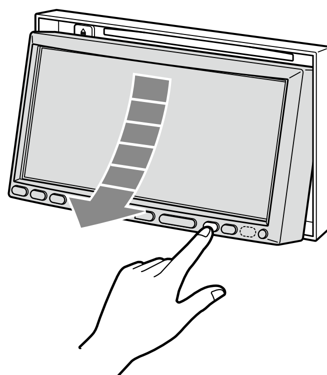
操作パネルの開閉を行います。

● 操作パネルの角度を調整する

OPEN スイッチを約2秒間押し続ける。

指をはなすごとに、1段ずつパネルの角度が変わります。





知識

操作パネルの角度調整について

OPEN スイッチは、押し続けるとTILT機能が働き、画面を見やすい角度（6段階）に調整できます。角度を変えると、その角度がメモリーされ、パネルの開閉操作をしても、メモリーされた角度に戻ります。
角度は、全閉位置→TILT1→TILT2→TILT3→TILT4→TILT5→TILT6→全閉位置の順に変わります。

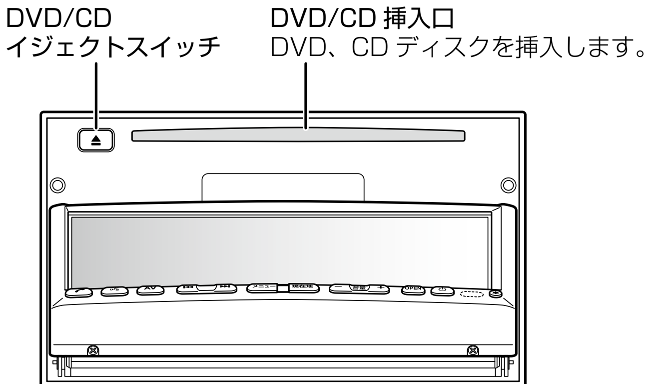
●音量を調整する

音量 スイッチのー、＋を押して音量を調整する。

●電源をON/OFFする

⏻ スイッチを押す。
オーディオをON/OFFします。（※ナビゲーションの電源はOFFしません）

操作パネルを開けたとき

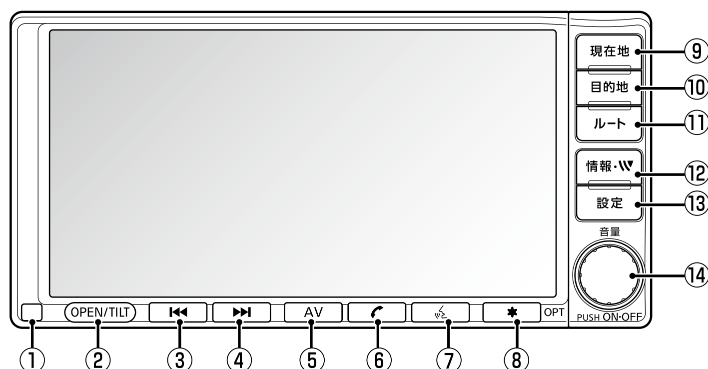


ご注意

- 操作パネル開閉時、または角度を切り替えるときは手や指を挟まれないようご注意ください。
  また、開閉時は無理な操作や異常な使いかたをしないでください。
  故障などの原因となります。
- ナビゲーション起動直後にDVD/CDイジェクトスイッチを押しても、イジェクトできない場合がありますが、故障ではありません。時間をおいて再度押すとイジェクトできます。

操作パネルの名前とはたらき

HC510D-W



① リモコン受光部

② OPEN/TILT スイッチ
操作パネルの開閉をします。また、押し続けるとパネルの角度を調整できます。

③ ⏮ スイッチ
戻し方向のチャンネルの自動選局、曲の早戻しなどを行います。

④ ⏭ スイッチ
送り方向のチャンネルの自動選局、曲の早送りなどを行います。

⑤ AV スイッチ
AVメニューを表示します。

⑥ 📞 スイッチ
ハンズフリーフォンの操作を行います。

⑦ 🎤 スイッチ
音声操作を行います。

⑧ ★ スイッチ
- サイドブラインドモニター接続時：サイドブラインドモニターの映像に切り替えます。
- サイドブラインドモニター未接続時：オプション選択画面で設定した機能が動作します。

オプションボタン設定について……A-9

⑨ 現在地 スイッチ
現在地(自車位置)の地図を表示します。また、メニュー画面やスクロール中の画面を表示中に押しても現在地画面に戻ります。

⑩ 目的地 スイッチ
目的地の検索メニューを表示します。

⑪ ルート スイッチ
ルートの確認や編集など、ルートのトップメニューを表示します。
また長押しすると、音声ガイドをリピートすることができます。

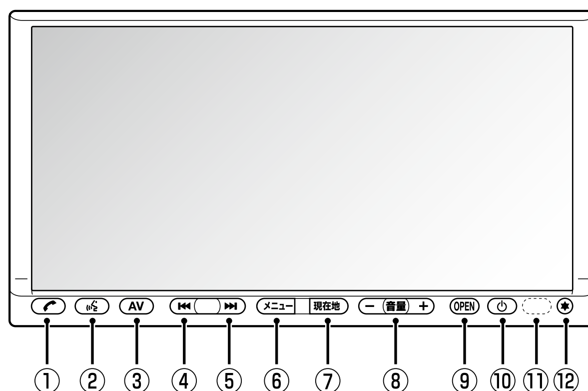
⑫ 情報・ スイッチ
VICSやるるぶ、カーウイングスなど、情報のトップメニューを表示します。

⑬ 設定 スイッチ
ナビゲーションやオーディオなど、設定のトップメニューを表示します。

⑭ 音量 / PUSH ON・OFF スイッチ
スイッチを回すと、音量を調節できます。スイッチを押すと、オーディオをON/OFFします。
(※ナビゲーションの電源はOFFしません)

準備

HC510D-A



① スイッチ
ハンズフリーフォンの操作を行います。

② スイッチ
音声操作を行います。

③ AV スイッチ
AVメニューを表示します。

④ スイッチ
戻し方向のチャンネルの自動選局、早戻しなどを行います。

⑤ スイッチ
送り方向のチャンネルの自動選局、早送りなどを行います。

⑥ メニュー スイッチ
ナビメニューを表示します。

⑦ 現在地 スイッチ
現在地（自車位置）の地図を表示します。また、メニュー画面やスクロール中の画面を表示中に押しても現在地画面に戻ります。

⑧ 音量 スイッチ
＋、－を押して音量を調整します。

⑨ OPEN スイッチ
操作パネルの開閉をします。また、押し続けるとパネルの角度を調整できます。

⑩ 電源スイッチ
オーディオの電源をON/OFFします。（※ナビゲーションの電源はOFFしません）

⑪ リモコン受光部

⑫ スイッチ
- サイドブラインドモニター接続時：
  サイドブラインドモニターの映像に切り替えます。
- サイドブラインドモニター未接続時：
  オプション選択画面で設定した機能が動作します。

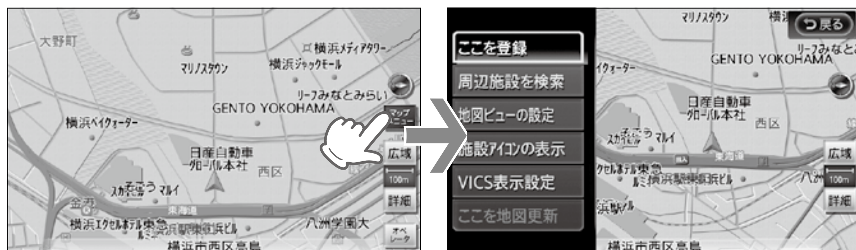
オプションボタン設定について............................A-9

準備

タッチパネルの基本操作

本機のディスプレイは、画面のタッチスイッチなどに指先で触れて操作するタッチパネルです。

地図画面のメニューにタッチする



メニュー画面のリストにタッチする

上の画面の［周辺施設を検索］にタッチして、メニュー画面を表示させます。



1つ前の操作に戻ります。

リストを1行ずつ送ります。

リストの表示位置を示します。赤色のバーがいま表示している部分です。

ページを送ります。

地図画面をタッチして移動させる



操作した方向に地図が移動します。

（例：スタンダードビューの場合）

オプションボタン設定について(サイドブラインドモニター未接続時)

★スイッチを押したときに動作する機能を設定することができます。サイドブラインドモニターが接続されていないときの機能です。

オプションボタン設定

1 ★スイッチを長押しする。

オプションボタン設定画面が表示されます。

2



設定したい項目にタッチする。

● ON が点灯し、★スイッチに設定されます。

設定できる機能は1つのみです。

変更する場合は、再びこの画面から機能を選びます。

自宅へ帰る	自宅へのルートガイドを行います。 事前に自宅の登録が必要です。 自宅を登録する.......... B-13
ガイド音声リピート	押すたびに誘導音声をリピートします。 ガイド音声リピートについて........ D-46
画質・画面消し	画質調整画面が表示されます。
交通情報ラジオ	交通情報を聞くことができます。
VICS FM多重 図形情報	VICS FM多重図形情報が表示されます。

オプションボタン を使う

1 ★スイッチを押す。

2



設定した機能を実行します。

ここでは［**自宅へ帰る**］を選んでいます。